

(様式1)

学校番号 (小)・中 116)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(双葉小) 学校運営協議会長

<本年度の目標>

- キッズチャレンジビジネスをはじめとした行事への参加や教科学習の授業の参観を通して、実際に即した意見や提案を出し合い、子供たちの主体性や思いやりの心をさらに育むためにはどうすればよいかを熟議し、より充実した学校運営に寄与する。
- 学校運営協議会が学校支援活動にかかわる人材確保に貢献していることを確認できたので、さらに、保護者や地域住民に理解や協力が広がるよう、周知・情報発信を進める。
- 学校支援ボランティア登録制のより良い運営のためにさらなる改善を図り、今後も持続可能な仕組みを構築する。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ (ア) よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった  
(理由)

- 校長から基本方針について詳細な説明があり、活発な意見交換ができた。よりよい熟議により、教育方針の理解を深めることができた。
- 教育方針を理解したうえで、保護者や地域がどのように支援を行っていくかということまで熟議できてよかった。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた (イ) できた ウ あまりできなかった エ できなかった  
(理由)

- 子供たちの主体性を育む支援活動について委員同士が活動の方向性を共有できた。
- 全職員参加の協議会が中止となり(7/30大津波警報)、学校支援活動のニーズを幅広くつかむ機会がなくなってしまった。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った (イ) 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった  
(理由)

- 各種会合やブログ等により、情報発信を行うことができた。
- CSだよりを作成し、さくら連絡網やホームページ、回覧板などにより情報発信すれば、さらに学校運営協議会の周知や理解につながると思う。

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- 行事や授業の参加・参観を通して、実際に即した熟議を行い、より充実した学校運営に寄与する。
- 学校運営協議会や学校支援ボランティアへの理解や協力が広がるよう、CSだよりの作成を実現する。
- 学校支援ボランティア登録制のより良い運営のためにさらなる改善を図り、持続可能な仕組みの構築を継続する。